

## 第2 水道事業について

### 1 事業の概況

平成29年度の給水量は、宇治浄水場系では下期が1,123万9,610立方メートル、年間が2,245万3,094立方メートルで、前年度に比べてそれぞれ2.5%と1.8%の増加となっています。

木津浄水場系では下期が460万8,565立方メートル、年間が932万8,539立方メートルで、それぞれ2.6%と1.9%の増加となっています。

乙訓浄水場系では下期が441万7,001立方メートル、年間が884万5,635立方メートルで、それぞれ2.4%と1.6%の増加となっています。

給水量の合計は、下期が2,026万5,176立方メートル、年間が4,062万7,268立方メートルで、それぞれ2.5%と1.8%の増加となっています。

また、3浄水場系を合わせた料金収入は、下期が24億3,556万円、年間が48億8,420万円で、それぞれ0.4%と0.3%の増収となっています。

なお、給水量及び料金収入の浄水場系別は、第4表のとおりです。

第 4 表 平成 29 年度給水量及び料金収入（税込み）実績表

項 目		下 期	年 間	年間対前年比 (%)
宇治浄水場系	建設負担水量（日量）(m <sup>3</sup> )	108,000	—	—
	建設負担水量（合計）(m <sup>3</sup> )	19,656,000	39,420,000	100.0
	給水量 (m <sup>3</sup> )	11,239,610	22,453,094	101.8
	超過水量 (m <sup>3</sup> )	0	0	—
	料金収入 (千円)	1,176,829	2,358,225	100.4
木津浄水場系	建設負担水量（日量）(m <sup>3</sup> )	36,200	—	—
	建設負担水量（合計）(m <sup>3</sup> )	6,588,400	13,213,000	100.0
	給水量 (m <sup>3</sup> )	4,608,565	9,328,539	101.9
	超過水量 (m <sup>3</sup> )	0	0	—
	料金収入 (千円)	569,166	1,143,319	100.3
乙訓浄水場系	建設負担水量（日量）(m <sup>3</sup> )	45,800	—	—
	建設負担水量（合計）(m <sup>3</sup> )	8,335,600	16,717,000	100.0
	給水量 (m <sup>3</sup> )	4,417,001	8,845,635	101.6
	超過水量 (m <sup>3</sup> )	0	0	—
	料金収入 (千円)	689,569	1,382,654	100.2
料金収入計（千円）		2,435,564	4,884,198	100.3

※超過水量は給水量の内数

## 2 平成 30 年度予算の概要

平成30年度予算は、事業の経営健全化のために、経費の重点的かつ効率的な執行を図ることを主眼に編成しています。

収益的収支（税込み）においては、収入は料金収入48億4,355万円、長期前受金戻入4億2,690万円、その他収益5,775万円、合わせて53億2,820万円となっています。支出は、給与費5億3,074万円、減価償却費26億7,665万円、支払利息5億665万円、その他経費14億7,271万円、合わせて51億8,675万円となっています。

資本的支出（税込み）においては、建設改良費38億886万円、企業債償還金20億4,162万円、予備費100万円、合わせて58億円5,148万円となっています。

平成30年度予算の実施計画は第5表のとおりであり、収益的収支構成比較は第2図のとおりです。

第 5 表 平成 30 年度水道事業会計予算実施計画 (税込み)

1 収益的収入及び支出  
収 入

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 水道事業収益			5,328,204	
	1 営業収益		4,863,627	
		1 給水収益	4,843,554	給水料金
		2 その他営業収益	20,073	水質検査受託費等
	2 営業外収益		464,577	
		1 受取利息	188	預金利息等
		2 消費税及び地方消費税還付金	950	
		3 他会計補助金	36,202	一般会計からの補助金
		4 長期前受金戻入	426,898	固定資産減価償却費のうち補助金等相当額
		5 雑収益	339	

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 水道事業費用			5,186,748	
	1 営業費用		4,673,926	
		1 原水、浄水及び送水費	1,784,218	{事業所職員給与費 335,931 {事業所営業費 1,448,287
		2 総係費	213,055	{本庁職員給与費 194,812 {本庁営業費 18,243
		3 減価償却費	2,676,652	固定資産減価償却費
		4 資産減耗費	1	
	2 営業外費用		511,820	
		1 支払利息	506,645	{企業債利息 417,127 {割賦負担金利息 89,518
		2 雑支出	5,175	府営水道受水市町水道事業経営健全化事業費補助金
	3 特別損失		2	
		1 過年度損益修正損	1	
		2 固定資産売却損	1	
	4 予備費		1,000	
		1 予備費	1,000	

2 資本的収入及び支出  
収 入

(単位 千円)

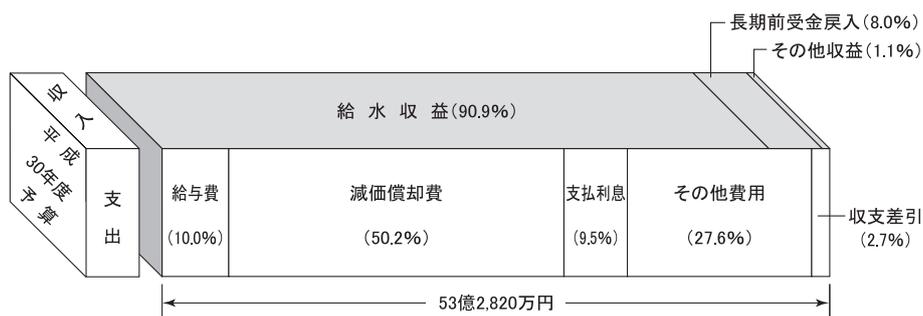
款	項	目	予 定 額	備 考
1 資本的収入			3,511,748	
	1 企業債		2,684,000	
		1 企業債	2,684,000	
	2 出資金		669,347	
		1 出資金	669,347	一般会計からの出資金
	3 補助金		158,400	
		1 国庫補助金	158,400	
	4 固定資産売却代金		1	
		1 固定資産売却代金	1	

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資本的支出			5,851,478	
	1 建設改良費		3,808,862	
		1 府営水道施設拡張事業費	52,138	
		水源開発負担金	33,340	
		建設利息	18,798	
		2 府営水道施設改良事業費	3,756,724	
		諸施設費	2,186,585	{工事費 2,166,980 設備費 1,043 補償費 18,562
		総係費	191,400	委託費
		水源開発負担金	1,362,465	
		建設利息	16,274	
	2 企業債償還金		2,041,616	
		1 企業債償還金	2,041,616	
	3 予備費		1,000	
		1 予備費	1,000	

第 2 図 平成30年度水道事業予算の収益的収支構成比較（税込み）



### 3 平成29年度決算の経理状況

平成29年度決算の経理状況は、収益的収支（税込み）では収入総額54億1,867万円で、前年度に比べて60万円の微減となっています。また、費用総額は50億5,685万円で、前年度に比べ1.9%（9,847万円）の減少となっています。

一方、資本的支出（税込み）は65億6,048万円で、その内訳は建設改良費45億5,741万円、企業債償還金19億9,052万円、国庫補助金返還金1,255万円となっています。

### 4 資産及び企業債の現在高

平成29年度末における資産総額は798億4,692万円で、その94.6%が固定資産となっています。また、企業債の現在高は265億5,707万円となっており、これらの明細は第6表のとおりです。

第 6 表 水 道 事 業 企 業 債 明 細 書

（単位 千円）

借 入 先	発行総額	償 還 高		未償還残高
		当期償還高	累 計	
政 府 資 金 (財務省財政融資資金)	23,189,366	691,315	6,953,065	16,236,301
地方公共団体金融機構	16,432,600	776,188	8,499,900	7,932,700
市 中 銀 行	5,920,000	523,013	3,531,928	2,388,072
計	45,541,966	1,990,516	18,984,893	26,557,073